

# 安心して乳房X線検査を受けて頂くために

早期乳がんやその他の病変を見逃さないためには、乳房全体を撮影することが大切です。そのため、検査時に撮影技師が乳房に触れる必要があります。また、被曝量を減らすために乳房を圧迫して薄くする必要があります。ご理解を頂きますようお願いいたします。

## 【 検査方法 】

- ① 左右の乳房を片方ずつ台の上に乗せて、乳房を圧迫板で挟んで撮影します。直接手で乳房を押さえるため不快感を感じるかもしれませんが、できる限り力を抜きリラックスして頂くようお願いいたします。乳房ができるだけフィルムの中に写し出されるように、乳房を持ち上げ引き伸ばし乳腺を広げながら挟むため、痛みを伴うことがあります。痛みを強く感じるようでしたら、遠慮なく声をかけて下さい。
- ② 検査の時間は、約10～15分程度で終了し、乳房の大きさにかかわらず撮影は可能です。
- ③ 撮影終了後、写真の確認をするため5分程度お待ち頂くことになります。

## 【 以下の方には検査できません 】

- 妊娠中または妊娠の可能性のある方
  - ※ X線を使用しますので、好ましくありません。
- 授乳中の方
  - ※ この期間は乳腺が発達し、病変が見つげにくい時期です。
- ペースメーカーを挿入されている方
  - ※ 圧迫によって、ペースメーカーが破損してしまう可能性があります。
- 豊胸術を受けられた方
  - ※ 圧迫によって、パットをつぶす可能性があります。
- 強度の胸郭変形のある方
  - ※ 圧迫ができない場合には、検査時にお断りすることがあります。
- 月経前で、乳房に痛みがある方
  - ※ 圧迫ができない場合には、検査時にお断りすることがあります。

上記に当てはまる方は、スタッフにお申し付けください。

また、40才未満の方は乳房超音波検査を受けられるほうが望ましいです。

なお、当診療所では、乳房視触診のみでの『乳がん検査』は実施しておりません。何らかの事情で、乳房X線（マンモグラフィ）を中止された場合、乳房視触診の判定は実施しませんので、予めご了承ください。